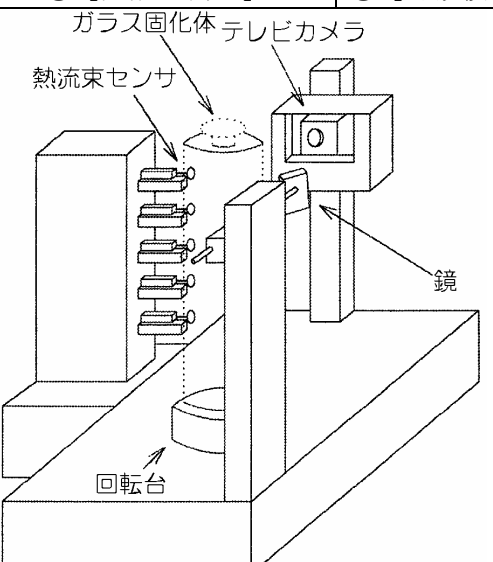
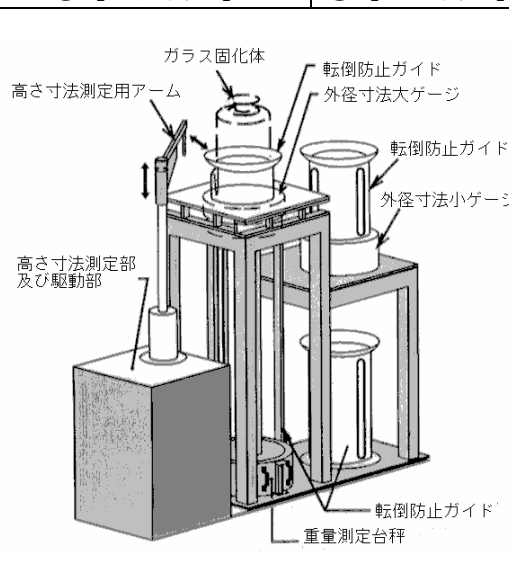
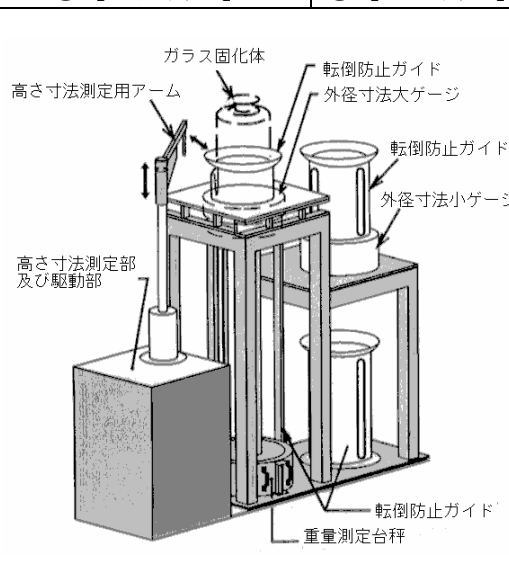
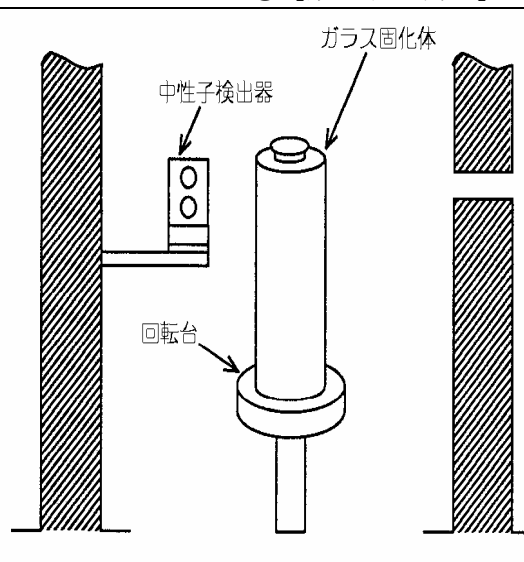
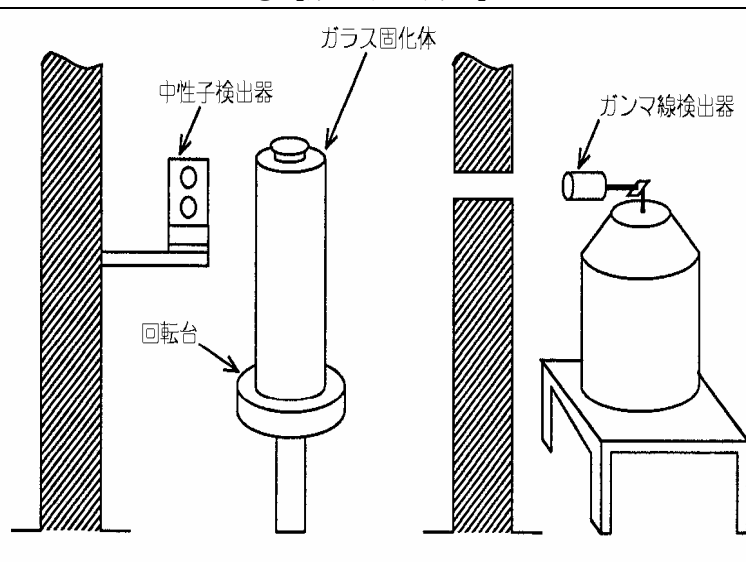
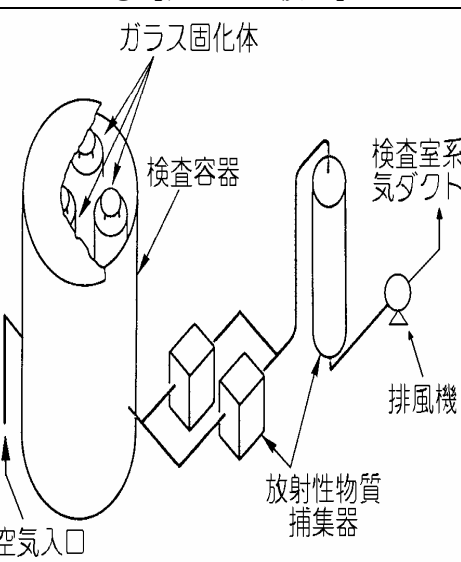
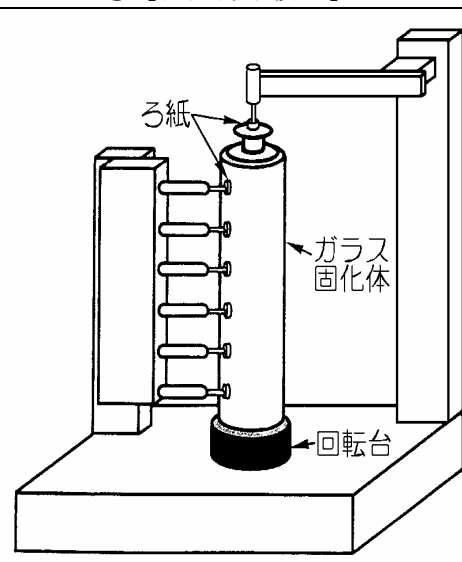


ガラス固化体検査・測定の概要

	①【発熱量測定】	②【外観検査】	③【寸法測定】	④【重量測定】	⑤【放射エネルギー測定】	⑥【閉じ込め検査】	⑦【表面汚染検査】
検査・測定装置	 <p>ガラス固化体 テレビカメラ 熱流束センサ 鏡 回転台</p>	 <p>ガラス固化体 高さ寸法測定用アーム 回転防止ガイド 外径寸法大ゲージ 回転防止ガイド 外径寸法小ゲージ 重量測定台秤 回転防止ガイド</p>	 <p>ガラス固化体 高さ寸法測定部及び駆動部 回転台 重量測定台秤 回転防止ガイド</p>	 <p>ガラス固化体 中性子検出器 回転台 ガンマ線検出器</p>	 <p>ガラス固化体 中性子検出器 回転台 ガンマ線検出器</p>	 <p>ガラス固化体 検査容器 検査室系排気ダクトへ 排風機 放射性物質捕集器 空気入口</p>	 <p>ろ紙 ガラス固化体 回転台</p>
検査・測定内容	<p>発熱量測定のためのセンサをガラス固化体に接触させ、放熱量 (W/m^2) を測定することによりガラス固化体の発熱量を求める。</p>	<p>ガラス固化体を回転させ同時にテレビカメラを上下させて、ガラス固化体の各部を目視する。</p>	<p>【外径（大小ゲージ）】 ガラス固化体が大ゲージを通過でき、小ゲージを通過できないことを確認する。</p> <p>【高さ（高さ計）】 測定端子をガラス固化体の頂部に接触させ、ガラス固化体の全高を測定する。</p>	<p>大ゲージ設置位置の下部に重量計を設置し、重量を測定する。</p>	<p>【α線を放出する放射エネルギー測定】 中性子発生数を中性子検出器で測定する。</p> <p>【α線を放出しない放射エネルギー測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> セシウム-137の濃度をγ線検出器で測定する。 発熱量の測定値に対応するα線を放出しない放射性物質の濃度（全$\beta\gamma$放射能濃度）を計算により求める。 	<p>ガラス固化体（3本1組）を検査容器に収納し、排風機によって検査容器内を通過した空気を放射性物質捕集器（フィルタ及びルテニウム捕集材）に通す。その後、フィルタ及びルテニウム捕集材の放射性物質（放射性セシウム、放射性ルテニウム）を分析し、ガラス固化体の閉じ込めが健全であることを確認する。</p>	<p>ガラス固化体を回転させて、ガラス固化体の表面をスミヤロ紙で拭き取りスミヤロ紙を分析し、放射性物質の表面密度を測定する。</p>